

# 武雄市ため池ハザードマップ (有田川内第2・亀ノ甲ため池)

1:5,000



有田川内第2ため池

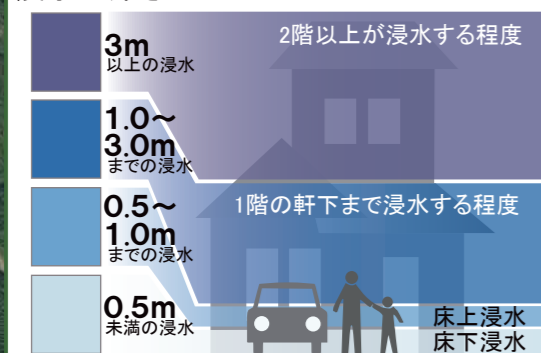
亀ノ甲ため池

亀の甲公民館

武内公民館

武内警察官駐在所

## 浸水の深さ



## 武内町の武雄市指定避難所

・武内小学校 ・武内公民館 ・武雄北中学校

## 凡例

- 指定緊急避難場所  
災害の危険から一時的に逃れるための施設
- 指定避難所  
避難生活を送るための施設
- 福祉避難所  
高齢者や障がい者などの要配慮者の方を受け入れるための避難所(※状況に応じて開設します)
- 要配慮者利用施設
- 警察
- 地域避難所
- 対象ため池
- はん濫水の到達時間
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

## 【はん濫シミュレーションの条件】

- ① 想定される最大規模のはん濫を想定しています。
- ② 決壊時のため池の貯水量は満水とし、地震または大雨等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
- ③ ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなると仮定しています。
- ④ 決壊を想定した位置は、堤防中央と仮定しています。
- ⑤ 数値シミュレーションは、地形を5mのメッシュで表したモデルを用いて、はん濫流の動きを計算しています。

## 【ハザードマップ活用の留意点】

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。

浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。